

## 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、競技を進行する。
2. 練習及びアップの場所については特に決めていないが、競技場南のグラウンド等、引率者同伴で安全な場所で練習すること。
3. コールについて
  - コールは行わない。競技開始20分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり係員の指示にしたがうこと。
  - 集号場所は、競技場北側ゲート（100mスタート付近後方）入口付近に設置する。
  - 集合場所では胸・腰ナンバーカード、シューズ、衣類など、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
  - 招集受付は、選手自身がすることを原則とするが、2種目出場して選手自身が招集場所に行けない時は、引率者の代理受付を認める。この場合、必ず競技者係主任に申し出る。
  - 招集に遅れた場合、当該種目を棄権したものと判断し処理する。なお、4×100mリレーの決勝に出場するチームは、大会本部にあるリレーオーダー用紙に記入し、60分前までに大会本部に提出すること。
4. ナンバーカードについて
  - ナンバーカードは本大会規定のものを使用し、ユニホームに固定する。
  - トラック競技に出場する競技者（4×100mリレーはアンカーのみ）は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、右腰のやや後方に外からよく見えるように付け、競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。
5. 競技について
  - その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
  - 決勝の組み合わせ及びレーン順、試技順は公正に番組編成し、その結果を正面玄関付近の掲示板に掲示する。
  - トラック競技について
    - ア) 出発姿勢はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。  
各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
    - イ) 100m走、80mH走、4×100mリレーの各走者は、競技者の安全のため、審判の指示があるまで自分の割り当てられたレーン内にとどまること。
    - ウ) 4×100mリレーにおけるテイクオーバーゾーン手前からの10mの補助ゾーンは使用してもよい。
    - エ) スターティングブロックは、予選から希望者は使用してもよい。
    - オ) 1000m走・800m走は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。
  - フィールド競技について
    - ア) 走り幅跳びは、まず3回の試技を行い、記録の上位8名の選手は、さらに3回の試技を行うことができる。順位決定については、合計6回の試技全ての記録により決定する。
    - イ) ソフトボール投げは、全国大会のルールに従い、全員3回の試技のみで順位を決定する。
    - ウ) 走り高跳びの試技は男子105cm、女子100cmから行う。また、バーの上げかたは、5cmとする。但し、競技者が1人になった場合には、本人の希望の高さで試技を続けることができる。また、1位と6位が複数の時には、2cmの幅の増減により順位を決定する。
    - ウ) 走り高跳びの跳び方は、はさみ跳びで、マットへの着地は足裏からとし、背中、腰からの着地は無効試技とする。
6. 各種目3位までを表彰する。（男女別）また、参加者全員に記録証を配布する。
7. 競技用靴は運動靴またはスパイクシューズ（スパイクピンの数は11本以内の平行ピンで、長さ7mm以下）とし、素足は認めない。ただし、1000m走・800m走は、スパイクシューズや突起物のあるシューズの使用は認めない。
8. その他
  - (1) 全記録を知りたい方は、大会事務局(下田 090-6842-1107)へ確認してください。
  - (2) 医務係は、医務室（エントランス左側の部屋）に待機している。
  - (3) 大会出場時の応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡して処置を受ける。応急処置後の保険適用外の責任は負わない。
  - (4) 貴重品の管理は各自で行う。紛失の責任は負わない。
  - (5) 参加受付とプログラム販売（1部200円）は、正面玄関付近で行う。
  - (6) ゴミは各自で責任をもって、持ち帰ること。
  - (7) 競技場内は全て禁煙です。喫煙は指定した喫煙所をお願いします。